

1 次の説明文の空欄 [ア] ~ [ケ] に入る最も適切な語句を選択肢から選び、それぞれ番号で答えなさい。なお、記号が同じ空欄には同じ語句が入るものとする。

情報をやりとりすることを [ア] といい、その手段は技術の進歩によって変化してきた。紙に文字と記号などを手書きで記述した手紙を運ぶことで、情報をやりとりする [イ] は [ウ] による [ア] の典型例であり [イ] によって遠く離れたところに居る人とコミュニケーションを取ることができるようになった。モールス電信機が発明され、それを使った電信が行われるようになると、手紙を運ばなくても文字と記号を電気信号に変換してやりとりできるようになり、やりとりできる距離と速度が格段に向上した。さらに電話が発明されると、文字と記号ではなく音声を使ったりリアルタイムの [ア] が可能となり、やりとりできる速度と情報の表現能力が向上し、遠く離れたところに居る人とより深いコミュニケーションを取ることができるようになった。コンピュータが発明されて [ア] に利用されるようになると、今まで [ウ] の情報しかやりとり出来なかったものが、簡単に複製ができて劣化しない [エ] の情報をやりとりすることが可能となり、情報を一度にたくさんの人に劣化なく届けることが可能になった。

情報を [エ] に変換する手段が生まれることで文字や記号、音声だけでなく画像や動画などといった様々な情報を [エ] データに変換することで、様々な情報を使った [ア] が可能となり現在のように多種多様なコミュニケーションが行なえるようになった。

コンピュータ同士を [ア] を行う回線で網の目のように結んだものを [オ] という。この [オ] を使った典型的なコミュニケーション手段の一つが [カ] である。[カ] とは [オ] とその上での住所として用いることができる [カ] アドレスをつかって [イ] のような文字と記号などのやりとりを行うコミュニケーション手段である。登録しているメンバー全員に同時に同じ内容の [カ] を送信するシステムのことを [キ] という。

[オ] 上の Web ページ上などに設置された多くの人書き込んだり読んだりできる現実の掲示板のようなシステムを [ク] という。[オ] 上でリアルタイムに文字での会話を行うシステムを [ケ] という。コミュニケーションの内容によって適したシステムが違うため [オ] 上で効率的にコミュニケーションを取るには使い分けが重要となる。また、ある程度決まったコミュニティ内で利用するとなると、コミュニケーション手段ごとにシステムに用意すると利用方法が複雑になってユーザビリティが悪くなってしまふ。

そのため最近の SNS は [キ] , [ク] , [ケ] などの機能を統合したようなシステムとなっていて、場合によっては映像付きの電話のような機能やその他様々な機能まで統

合したものが登場している。そのため最近では  ,  ,  をそれぞれ単体で活用するような状況が少なくなっている。

選択肢

- ④ BBS    ① ハードディスク    ② メーリングリスト    ③ デジタル
- ④ ネットワーク    ⑤ チャット    ⑥ 電子メール    ⑦ 郵便    ⑧ 通信
- ⑨ アナログ